

山古志地域デザインガイドラインの策定について

1 デザインガイドラインの必要性

中越大震災により甚大な被害を受けた山古志地域では、現在、創造的復興に向けて地域資源を活用した様々な取り組みが行われています。

山古志の地域資源としてはずすことのできないものとして、「景観の素晴らしさ」があります。棚田・棚池の美しさにひかれて、多数の来訪者が山古志を訪れています。

現在、山古志の景観を永続的に守るための具体的な決まりは存在しません。きっかけがあれば、山古志の景観の素晴らしさは失われ、地域資源とは言いがたいものになってしまいます。来訪者は山古志に魅力を感じなくなり、徐々に山古志の活力は失われていくこととなります。

いつまでも景観の素晴らしさを維持するために、住まいや棚田、里山などに関する決まり「山古志地域デザインガイドライン」の策定が必要なのです。

2 デザインガイドライン（素案）の内容 別紙を御覧ください。

3 実施（施行）の時期 平成 21 年 4 月から実施

4 デザインガイドラインの期待する効果

景観を永続的に守るための決まりを定めることによって、山古志に住む人々が山古志の魅力を改めて自覚し、そこに住み続けることにより、持続的な発展が可能な山古志をつくることを目指します。